

第6学年 外国語活動指導案

平成21年9月29日(火)5限時

渋谷区立千駄ヶ谷小学校

指導者 HRT 荒井浩子

1. テーマ「ANIMATION」

2. ねらい

・聞き取りの練習を通して基本的な言い方 (be 動詞, have, can, like,) を復習し、それらを使って話したり聞いたりする。

・ゲームやスキット (寸劇) などを通して、簡単な以後のコミュニケーションが楽しむ。

3. テーマについて

本校では、低学年は年間20時間、高学年は30時間、それぞれ英語の授業を行っている。本学級の児童も、1年生から担任。ALTとともに、英語活動に取り組んできており、英語での簡単な挨拶や身近ないくつかの単語などは、ほとんどの児童が身につけている。また授業中だけでなく、給食の時間などALTが教室に来たときは、親しみを持って接し、日本語と片言の英語や身振り手振りで、なんとかコミュニケーションを図ろうとする姿も見受けられる。さらに6年生では、夏休みに福島での英語体験(宿泊行事)があるため、英語に対する興味や関心は比較的高い児童が多いと思われる。

しかし、高学年になり、発達段階からか恥ずかしさが先に立ち、なかなか大きな声が出せなくなったり、逆に覚えようという気持ちが芽生えて、英語に対して苦手意識を持ち始めてしまったりする児童も見受けられる。

本テーマ「ANIMATION」は3つのレッスンで構成されており、be 動詞, have, can, like等の簡単な使い方を練習し、インタビューしあったりスキット(寸劇)を演じたりすることを通して、英語でのコミュニケーションを楽しむというものである。本時は3時間の活動の中の、最初の1時間目の授業である。

そこで、児童の身近な話題(アニメのキャラクター)をテーマに、ゲーム性の高い活動を多く取り入れ、児童が楽しみながら意欲的に取り組めるような場を多く設定した。

さらに、できるだけクラスルームイングリッシュを活用して、英語活動の雰囲気作りを行うことも大切であると考え、実践している。中でも特に、賞賛や励ましの言葉(Good job, Great, Nice try, Well done, Perfect,など)をできるだけ多く使って褒め励まし、児童が自信を持って発声したり活動したりできる様に心がけている。

また授業の前に打ち合わせを行い、ALTとHRTの役割を明確にすることも必要である。ALTのネイティブな英語に出来るだけ多く触れさせるのは大事だが、活動の流れをコントロールするのはHRTである。児童の様子を捉えながら、ALTに的確に働きかけられるようにする。また、児童と一緒に活動を楽しんだり、時には失敗して見せたりしながら、必要に応じて児童への支援を行うことが望ましいと考えている。

外国語活動を通してコミュニケーション能力を伸ばしていくということは、決して英会話出来るようにすることでは無く、相手の話をしっかり聞いて、その思いを受け止めようとする姿勢や態度を育てていくことなのではないかと思いつつ、日々の授業に取り組んでいる。